

講座名	エクステンションぷらすα 人生 100 年時代を見据えた金融リテラシー講座
開催期間	①8月23日(金) 16:00-18:00 ②8月30日(金) 16:00-18:00 ③9月 6日(金) 16:00-18:00
開催場所	山形大学小白川キャンパス
講座概要	■講師：深津遥（SMBCコンシューマーファイナンス株式会社）、岡崎勲、中鉢啓太（株式会社きらやか銀行）、岡庭英重、是川晴彦、坂本直樹（山形大学） ■目的：人生 100 年時代といわれ、多様な生き方や働き方が求められる昨今、お金と暮らしの関係も個人のライフプランを踏まえて考えることが必要ではないでしょうか。本講座は、生活の身近なテーマを通してお金の知識を身につけ、経済の仕組みについて考えることを目的としています。暮らしに役立つ情報とともに、現在の市場や社会保険制度など、ニュースでよく見聞きするワードについて学んでみませんか。
受講対象者 (定員)	一般の方 100名
受講料	3,000円
お問い合わせ先	山形大学エクステンションサービス推進本部 (TEL 023-628-4779)

回	日 程	時 間	内 容
1	8月23日(金)	16:00-18:00	① ライフプランを描こう ② 賢い消費者になろう
2	8月30日(金)	16:00-18:00	③ 金融・経済の仕組みを理解しよう ④金融商品・保険を活用しよう
3	9月 6日(金)	16:00-18:00	⑤ 支え合う社会の仕組みを知ろう

講座名	エクステンションぷらすα 伊佐早謙—琉球・沖縄史料のまもりびと
開催期間	2024 年 10 月 21 日（月）～12 月 13 日（金）予定
開催場所	山形大学小白川キャンパス
講座概要	■講師：新宮学（山形大学名誉教授） 石黒志保（山形大学） ■目的：本学附属図書館では、1955（昭和 30）年に購入した「林泉文庫」旧蔵の和漢書を 1,255 部以上所蔵しています。「林泉文庫」とは、山形県師範学校（本学地域教育学部の前身）でも教鞭をとった、伊佐早謙（1858～1930）が収集した蔵書です。本学附属図書館所蔵の「林泉文庫」は長らく未整理のままで、和書や漢籍の一部が調査されたものの、いまだ全体の目録がなく、一部の利用にとどまっていました。現在、悉皆調査・整理、目録リストの作成を進めていますが、その過程で見つかった、琉球・沖縄史料を中心とする特筆すべき貴重書を本展で展示紹介します。太平洋戦争で焦土と化した沖縄でも現存しない史料が、本学附属図書館に所蔵されています。この展示に合わせ、展示内容を解説するオンデマンド講座を開催します。 ■申し込み https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/rinsen.html
受講対象者（定員）	社会人（高校生以上）
受講料	3,000円
お問い合わせ先	山形大学エクステンションサービス推進本部 （TEL 023-628-4779）

回	日 程	時 間	内 容
1	オンデマンド配信		「近代山形最初の郷土史家、伊佐早謙の仕事」
2	オンデマンド配信		「伊佐早謙が収集した「林泉文庫」の行方」
3	オンデマンド配信		「郷土史家伊佐早謙と林泉文庫—「知」のまもりびとの軌跡」

講座名	地域防災力向上セミナー VOL.2 炊き出し体験ワークショップ
開催期間	【オンライン講座】 11月配信 全5回 【ワークショップ】 11月30日（土） 13：00-16：30
開催場所	山形大学小白川キャンパス
講座概要	■講師：石垣和恵、本山功、石瀬素子、熊谷誠、石黒志保（山形大学） ■目的：近年、災害が激甚化し、その頻度も高まりつつあるなか、地域住民の自助・共助による防災活動がより一層求められています。山形大学エクステンションサービス推進本部と災害環境科学研究ユニットでは、地域の防災力向上を目的とした社会人向けセミナーを開講します。オンデマンド講座で専門性に基づく最先端の災害発生メカニズムや防災の心構え、被災時の食生活についての理解を深めた後、炊き出し体験ワークショップを行うことで、実践的な地域防災力の構築を目指します。
受講対象者 （定員）	20名
受講料	5,000円
お問い合わせ先	山形大学エクステンションサービス推進本部 （TEL 023-628-4779）

回	日 程	時 間	内 容
1	オンデマンド配信		地震と震災～現象としての地震・災害としての地震～
2	オンデマンド配信		山形県の活断層と地震活動
3	オンデマンド配信		山形県の水害・土砂災害
4	オンデマンド配信		歴史から学ぶ山形の災害における「食」
5	オンデマンド配信		被災時の食生活の現状と課題
6	11月30日（土）	13:00-16:30	ワークショップ

講座名	地図を使ったデータビジュアライゼーション
開催期間	【オンライン講座】 11月15、22、29日 【ワークショップ】 12月14日（土） 14：00-16：00
開催場所	山形大学小白川キャンパス
講座概要	■講師：本多広樹、柿崎慎也（山形大学） ■目的：現代社会では、様々なデータが日々生まれ、活用されています。皆さんの身の回りにも、様々なデータは「可視化」することで新しい発見があります。 そこで本講座では、身の回りのデータやその可視化手法について、その必要性を理解すると共に、多様な活用方法を事例を基に学び、実践していきたいと考えています。 なかでも、地域の課題を考える上では、様々なデータを地図を使って可視化する、地図上で重ね合わせることが重要です。データの可視化を通して、身の回りの地域について改めて考えてみましょう。
受講対象者（定員）	20名
受講料	5,000円
お問い合わせ先	山形大学エクステンションサービス推進本部 (TEL 023-628-4779)

回	日 程	時 間	内 容
1	オンデマンド配信		「地理空間情報とその可視化」
2	オンデマンド配信		「情報の視覚化とコミュニケーションの関係」
3	オンデマンド配信		「可視化に基づく地域分析」
4	12月14日（土）	14:00-16:00	ワークショップ